

見附市水道事業経営戦略改定（案）に
寄せられた意見と市の考え方

令和7年1月22日から2月20日までの間、「見附市水道事業経営戦略改定（案）」のパブリックコメントを行い、2人11件のご意見が寄せられましたので、その内容とそれに対する市の考え方をお知らせします。ご意見をいただきまして大変ありがとうございました。

No.	意見の内容	市の考え方
1	日頃、節水に努めています。 一人暮らしのため、漏水がない限り、1カ月当たり10 m ³ を超えることはありません。 従って、今回の料金改定に伴い、基本料金の基本水量をゼロにするか、5 m ³ にしてほしい。 以上、よろしくお願いします。	本経営戦略改定案は、現在の料金体系を維持した場合の財源試算により将来の予測やシミュレーションを行っていることから、案のとおりとします。なお、ご意見につきましては今後の事業を検討する際に参考とさせていただきます。
2	（1）P5～6について、P5に図4-1 水道施設のフローはあるが、水道事業が保有する施設の数量が表として整理されておらず、読み手には現状が理解しづらい。ゆえに、施設の数量を表として整理すべきである。特に「⑥管路について」の記載内容が、表なしでは内容が読み手には理解しにくい記載である。（なお、周辺の長岡市や三条市の同種戦略では、これらが整理されている。）	頂いた意見を踏まえ、以下の図表を追加します。 ・給水区域及び施設の位置図 ・水源一覧及び概要表 ・浄水池及び配水池一覧及び概要表 ・管種別管路延長割合グラフ
3	（2）P6の「レベル1地震動」「レベル2地震動」について、土木や建築技術者向けの文書であれば、無注釈で記載しても良いと考えるが、市民向けの文書に無注釈で書くのは適切ではない。注釈を付け	意見を踏まえ、用語解説に追加します。

	加えるべき。	
4	(3) P6 と P22 に関連するが、見附市として更新すべき施設の整理が曖昧であるとする。P22 に投資の計画を書くのであれば、その前段で見附市水道事業として保有する施設のうち更新が必要なものについては、前提条件として当然整理されるべきものだが、それが見当たらない。周辺の長岡市や三条市の同種戦略では「法定耐用年数での更新シナリオ」が掲載されたのちに、「平準化更新シナリオ」も掲載されているが、見附市においてもどのような施設を、どのような時期に更新対象（例：レベル 2 地震動に未対応、40 年以上経過の施設）とするのかを、表やグラフで整理し追記すべきである。	意見を踏まえ、更新基準の説明と表を追加します。
5	(4) 関連して、P53 の目標の一つに「管路更新率」が記載され、注釈には「φ150 以上の管路を対象とする」との記載があるだけで、「管路更新率の百分率」のみ記載されているが、現状の「φ150 以上の管路延長」と「更新の必要な延長」については、本文を読んでも良く分からない。これらの延長をキチンと整理して記載すべきではないか。	意見を踏まえ、φ150 以上の管路延長を追記します。 なお、「更新の必要な延長」については、経年による増加と布設替えによる減少があり、毎年度増減があるため、更新率での記載としています。
6	(5) P17 では見附市の人口が記載され、P18 では長岡市中之島地域（以下「中之島」という。）を含めた給水人口の予測を記載しているが、本来であれば、P17 で中之島の推計人口も併せて記載すべきで	意見を踏まえ、見附市と中之島地域に分けた給水人口推計値の表を追加します。

	はないか。P17 で中之島の推計人口の前提がないのに、いきなりP18 で中之島を含めた給水人口の推計を行うのは、論理的におかしい。	
7	(6) P17～20 は、同じような右肩下がりのグラフのみのページが4 つ続いて単調に見えるが、例えば、P17 と P18 のグラフを棒グラフと折れ線グラフの複合にすれば、推計人口減少に伴い、給水人口も減少すると1 ページで説明できるのではないか。	経営戦略全体をとおして体裁を揃えており、また、令和6年6月に改定した「下水道事業経営戦略」とも体裁を揃えていることから、案のとおりとします。
8	(7) 同様に、P19 と P20 のグラフを棒グラフと折れ線グラフの複合にすれば、有収水量の減少に伴い、料金収入も減少すると1 ページで説明できるのではないか。	(6) に同じ。
9	(8) P23 について、人件費について「当面横ばいの予定です」と記載してあるが、公務員の給与水準の決定に大きな影響を与える人事院勧告においては、2023、2024 年の両年において給与・一時金の引き上げがあり、今年の春闘の結果次第では、2025 年も大幅な引き上げもあると思料するが、このような判断をしているのはなぜか。同じページの「経費の予測」の記載では、物価上昇を見込むのとは、矛盾しているように見える。	意見を踏まえ、今後の人件費の予測を修正します。併せて、現状予測及び投資・財政計画（シミュレーション）の算定を修正します。
10	(9) P34 表 18 について、折れ線グラフが純利益及び利益剰余金、棒グラフが料金収入になっているが、棒グラフを純利益及び利益剰余金、折れ線グラフを料金収入にしてはどうか。そうすれば、料金	(6) に同じ。

	収入は右肩下がりの折れ線で表示され、棒グラフの純利益及び利益剰余金が「0 から下のマイナスの領域」に伸びていることが認識しやすくなるのではないか。同様に純利益及び利益剰余金を整理する表である P39 表 23、P43 表 26、P47 表 29 も棒グラフと折れ線グラフの配置を見直してはどうか。	
11	(10) 文章全体について、用字等の細かな点を指摘する。 ①本文の年の記載について、「元号のみ」での記載と「元号＋西暦併記」が混在しているが、「元号＋西暦併記」を本文に書くのであれば、それを通した方が分かりやすい。 ②P1 最終行に「概ね」とあるが、常用漢字表の読みにない訓であるので、公用文では「おおむね」と書くべき。 ③P23 の 3 行目に「国の補助金等を積極的に活用する他」と記載してあるが、公用文での助詞は、原則として平仮名書きなので「ほか」と書くべき。 ④P24 の最終行の「したがって本戦略においても今後の経費に関して上昇していくものと考えられます」は、意味が全く分からない文である。主語が「本戦略」で、述語が「考えられます」なのだろうか？私が書き直すのであれば「今後の経費については物価上昇を織り込む必要があるため、本戦略においてそれを見込んでありま	①～③、⑤ 意見のとおり修正します。 ④意見を参考に修正します。

	す」などを書くが、どう考えるか。 ⑤P53 に「今後の各種指標の目標は下記の通りです」とあるが、公用文では形式名詞は平仮名書きにするので「下記のとおりです」と書くべき。	
--	--	--